



第3回米・水田農業対策委員会を開催

道農連は9月5日、第3回米・水田農業対策委員会（大久保明義対策委員長）を開催し、秋闘に向けて対策課題や対策方針素案などを協議した。

秋闘対策をめぐるのは、畑地化支援における高収益作物の助成単価見直しが見込まれているほか、畑地化等に向けた対応に係る経費については予算編成過程で検討するとしていることから、水活見直しと畑地化対策を重点に課題を整理した。

委員会終了後には、2023年産米の概算金決定内容と北海道米販売戦略などについて、ホクレン米穀事業本部と意見交換を実施した。

アフリカ支援米の収穫イベントを各地で開催

道農連、連合北海道などで構成する食・みどり・水を守る道民の会（高久保陽一会長）は9月30日、アフリカ支援米の「収穫祭」を空知管内由仁町の山根農園で開催し、道民の会会員とその家族をはじめ、生産者ら約70名が参加して春に植えた「ゆめぴりか」を手作業で刈り取った。

このほか、9月9日には旭川市で、15日には士別市で、30日には七飯町で収穫イベントを実施し、地元小学校の児童や労働組合関係者らが参加した。

なお、収穫された支援米については、食料不足に苦しむマリ共和国へ送られる予定となっている。

道農業ジャーナリストの会第51回総会が開かれる

道農連も特別会員として参加する道農業ジャーナリストの会（HAJA、会長：坂下明彦北海道大学名誉教授）は9月22日、北海道大学農学部内の講義室で第51回総会を開催し、道農連は特別会員として参加した。総会では、2022年度事業報告及び収支決算報告、23年度事業計画及び収支予算案などを承認し、役員改選では坂下会長を再任した。

9月の活動記録（上記以外）

- 6日 日米共同訓練規模縮小等に関する申し入れ
- 8日 水活見直しに係る総括WG
- 12日 第2回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 21日 各地区事務局会議（オンライン）
- 27日 化学肥料低減定着対策事業全国説明会（オンライン）

10月の活動予定

- 2日 水活見直しに係る総括WG
- 3日 道農連女性書記の会定期総会・研修会（～4日）；札幌市・北広島市
- 6日 食・みどり・水を守る道民の会幹事会、水活見直しに係る関係機関連絡会議
- 11日 三役会議、第5回執行委員会
- 12日 水活見直しに係る関係機関連絡会議中央要請
- 24日 酪農畜産対策に関するブロック意見交換会
- 26日 第4回米・水田農業対策委員会
- 27日 第3回畑作・野菜対策委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（TEL011-241-5416）まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

